

## 令和6年度 学校経営の重点目標

人権尊重の理念に立ち、小宝島のよさ（極小規模校・義務教育学校、山海留学生受入れ校、豊かな自然）を生かした教育活動を展開し、「生きる力」の育成を図る。

- 1 「島立ち」に耐えうる基本的な生活習慣・コミュニケーション力を身に付けた児童生徒の育成
- 2 人権教育の推進と豊かな人間性を備えた児童生徒の育成
- 3 基礎学力・活用力を備え、自ら考え深く学び、協働して学ぶ児童生徒の育成
- 4 自ら気力・体力づくりに取り組む児童生徒の育成
- 5 健康・安全・食に関する指導の充実
- 6 9年間を見通したキャリア教育の推進
- 7 「島帰り」を意識した特色ある教育活動（小宝島のよさと誇りを感じる）の実践
- 8 学校・家庭・里親・寮監・地域との連携・協働

<b>学校経営の充実</b>	(1) 経営方針に基づく義務教育学校の経営の推進 ○ 教育課題と目指す像（学校・児童生徒・教師）の明確化 ○ 教育目標と校訓を意識した学校・学級経営と指導の深化 ○ 学校経営目標の具現化（学校経営重点目標の提示） (2) 校務分掌の機能化と充実 (3) 特色ある教育活動の推進「トカラ科」 (4) 家庭・里親・寮監・地域とのスムーズな連携
<b>人権教育の充実</b> 人権尊重の理念に立ち全教育活動を通じた人権同和教育の推進	(1) 差別や偏見のない人権教育の推進（正しい理解） ○ 学年別重点目標を意識した指導の充実 ○ 基本姿勢「M o m」を意識した教職員の関わり ○ <u>人権が尊重される人間関係・学習活動・環境づくりの推進</u> (2) 人権意識を高める校内研修の充実 (3) 啓発活動の充実による人権尊重の精神の高揚（いじめ問題を考える週間・校内人権週間の充実）
<b>学習指導の充実</b> 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、基礎学力の定着と活用力の向上を図り、自ら考え深く学び、課題解決を図る教育活動の推進	(1) <u>主体的・対話的で深い学びを育む授業改善</u> ○ <u>「小実ベーシック」を視点にした授業改善</u> ○ 言語活動の充実（児童生徒による「 <u>発言の場の確保</u> 」「感想発表」） ○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業 ○ <u>1人1台端末の積極的活用（授業とともに端末を活用した家庭学習）</u> ○ <u>T V会議システムを使った授業の充実</u> (2) <u>A L Tとの授業・乗り入れ授業の充実</u> (3) <u>自学学習習慣の定着</u> （家庭学習 60・90 運動の習慣化） (4) 「今週の間」「web 問題」等への取組と事後指導による基礎学力・活用力の向上
<b>特別支援教育の充実</b> 一人一人のよさを認め、特別支援教育の視点に立った困り感への対応	(1) <b>特別支援学級体制の充実</b> ○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした効果的な支援 ○ 保護者との連携 ○ 全校活動や交流学級等、校内支援体制の充実 (2) 個別の支援計画・指導計画の活用 (3) 特別支援教育への理解と啓発活動の推進 (4) 関係機関との連携（S Cとの連携、巡回相談の実施）
<b>道徳教育の充実</b> 豊かな心を持ち、主体的・自律的に実践する力を育む道徳教育の推進	(1) 多面的に物事を考え、議論する道徳科への授業改善 (2) 直接体験や感動体験の重視 (3) 「特別の教科 道徳」と全教育活動（緑化等の体験活動・縦割りを生かした活動・多様な表現等）を関連させた指導の充実 (4) 「特別の教科 道徳」の授業公開（12月授業参観）
<b>生徒指導の充実</b> 生命尊重を基盤に、基本的な生活習慣の定着を図り、「15の島立ち」	(1) 生徒指導提要の精神に基づく心の教育の推進 (2) 基本的な生活習慣（「 <u>早寝・早起き・朝ご飯</u> 」）及び「規範意識」の育成 ○ 生活リズム見直し週間の継続 ○ <u>大きな声で元気のよいあいさつ</u> 、「はい」の返事の指導 ○ <u>時と場に応じた言葉遣い</u> ○ 自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指した特別活

<p>に向け、豊かな人間性と 言語表現力を育む教育 活動の推進</p>	<p>動の充実（学級活動・朝の活動の時間・朝帰りの会等の充実） ○ 月別目標の共通理解・共通実践と心に届く指導（全校朝会） (3) 日常の声かけや教育相談、アンケート（いじめアンケート・学校楽しいとの活用）等による児童生徒理解の推進 (4) <u>読書指導の充実</u>（個人年間読書目標冊数の設定、読書月間の充実） (5) 家庭・里親・寮監・地域との「生活のしおり」を用いた共通理解と指導 (6) <u>義務教育学校を生かした児童生徒会活動の充実</u>（校則の見直し含む）</p>
<p><b>保健・体育・給食 安全の充実</b> 心と体のバランスのとれたたくましい気力・ 体力を育む教育活動の 推進</p>	<p>(1) 自ら心身の健康の保持増進に取り組む保健活動の推進 ○ 感染症に対する正しい理解と感染症対策の継続 ○ 心・性・薬物乱用防止等の指導の充実 (2) 運動量を確保した教科体育の取組 ○ 全校体育や場の工夫、個に合わせた目標の設定 ○ <u>困難への挑戦（一輪車・遠泳・持久走等）を通じた気力づくり</u> (3) 新体力テストの結果を踏まえた補強運動の共通実践 (4) <u>一校一運動（一輪車・ランニング・縄跳び）</u>及びチャレンジかごしまの継続的な取組を通じた体力づくり (5) 食に関する指導と学校給食指導の充実（食事マナーの習慣化） (6) 交通・水難事故防止、<u>安全指導（KYT指導）</u>、<u>実践的な避難訓練</u> (7) 施設設備の安全点検の徹底及び修理修繕の迅速化</p>
<p><b>進路指導の充実</b> 自己実現を目指す生き方 指導の充実</p>	<p>(1) 教育活動全体を通して組織的・計画的な進路学習による正しい職業観や目的意識の育成 (2) 個性を理解した進路指導と目的意識をもった進路選択の支援 (3) 適正な進路資料の収集・整理と提供 (4) <u>キャリアパスポート</u>を活用した自己評価 (5) <u>高校受験対策支援</u></p>
<p><b>学校・家庭・地域の連携</b> 特色ある教育活動の実践と 家庭・地域との連携を深め、 説明責任を果たす開かれた 学校づくりの推進</p>	<p>(1) <u>「トカラ科（総合）」における小宝島の自然・産業・人材（含ALT）・施設を生かした教育活動の実践</u> （小宝島を知る・小宝島で学ぶ・小宝島に学ぶ郷土学習） (2) <u>学校HP・ブログからの定期的な情報発信</u> (3) P T A・教育活動の理解促進のための学校行事への参加の招致 (4) 村内各学校との連携や交流促進（TV会議システムの積極的活用） (5) 子ども会・地域活動への積極的な協力参加と業務改善とのバランス (6) 学校便り等、学校評価の公開等による学校PR及び説明責任の工夫 (7) <u>小宝島山海留学習育成会組織の機能化</u></p>
<p><b>教育環境の充実</b> 全職員の総意と共通理解を 基に、学ぶ場 にふさわしい教育環境 づくりの推進</p>	<p>(1) 言葉遣いの指導と言語環境の整備・充実 (2) 教室環境の整備と学びの足跡が見える掲示の工夫 (3) 率先垂範、児童生徒・教職員が一体となった掃除及び見届けの徹底 (4) 花いっぱい運動（植付け・除草作業）の計画的な推進 (5) 教材教具や施設設備の活用と点検整備 (6) 職員作業の計画的実施</p>
<p><b>職員の資質向上の取組</b> 同じ目標、協働の取組による 組織体としての職務遂行</p>	<p>(1) 学習指導要領を踏まえた教育課程の確実な実践 (2) 義務教育学校のよさを生かした職員間の学びの充実 (3) 報告・相談・連絡・確認を密にした校務分掌の機能化 (4) 学校評価を活かした教育課程の編成（P D C Aサイクル） (5) 「かごしま県教員等育成指標」に基づく研修履歴の確実な記録とその活用による教員の資質向上 (6) 研究主題に基づく実践的研究の推進と指導法改善（個人研究テーマ設定、研究授業・理論研究の充実、教育論文への積極的応募） <b>研究主題 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善</b></p>
<p>教育者としての誇りをもった 自らの行動規範の確立</p>	<p>(1) 計画的なサービス指導によるサービス規律の厳正確保の徹底 (2) 管理職によるサービス指導の計画的分担 (3) サービスファイルの積極的活用（記入と見届け） (4) 定期的な個別指導の継続 (5) 不祥事根絶委員会提言を受けた参加型研修実施 (6) 心と体の健康増進・自己管理の充実、勤務時間の適正化</p>